

ICT 実践報告

指導形態：生活単元学習・調理

授業のねらい

- ・教師の支援をできるだけ受けずに、学習に参加することができる。
- ・教師の支援をできるだけ受けずに、学習の内容を理解することができる。
- ・使う道具、使う材料の名前を知ることができる。

具体的な活用場面



○導入

アプリ：keynote にてスライドを作成。①作るもの ②材料 ③使う道具 ④作り方の順に進めた。材料と使用する道具についてはクイズのように児童に問いかけながらスライド上に写真を提示し、それぞれの名前の理解も促した。

○実際の学習の様子

S T はほとんど支援を要さず、児童一人一人がテレビ画面から今日の学習についての理解を進めている。自主的に学習に参加する様子が見受けられる。

成果と課題

- ・言葉での説明が多い場合は注意が逸れ、教師の支援が多くなる児童もいるが、I C T を用いた導入を行うことで「見てわかる」が可能となり、自ずと真剣に学習手順のムービーを見る様子が見られた。また、学習への期待感や参加意欲も高まり、積極的に取り組むことができるようになった児童もいた。
- ・言葉での説明が難しい場合に、大きなテレビ画面で写真や映像を用いることで、児童に伝わりやすく、指示も的確に行うことができた。